

コフロック社長 小島 望 氏



―半導体製造装置や半導体製造の付帯装置向けが多い流体計測制御機器事業の状況は。

「半導体メーカーや製造装置メーカーが在庫を抱えていて、人工知能（AI）関連などの一部を除くと需要は回復していない印象。装置の国産化を進める

中国の影響も大きく、構成するパーツも国産化の流れにある。

ただ半導体製造装置向けで当社は後発。ゼロをイチにするトライに引き続き力を入れていく」

―海外の状況は。

「中国は顧客となりうる企業が増え、大きくなっているの
で、そこに向けた対応も必要となる。現在、半導体製造関連市場向け流量計で現地生産ができる体制をつくる方向で動いている。東アジアでも引き続き事業拡大を推進中。直近では、実績がこれまで少なかった台湾の半導体設備メーカー向けでバルブ

ゼロを1にする挑戦

が採用され、これから納入が始まる」

―医療・環境関連機器を手がけるエムテック（愛知県北名古屋市）を買収しました。

「酸素濃縮器の納入先との関係強化を進める。このほか、同社のファインバブル発生器と当社のガス発生装置で陸上養殖でのシナジーが見込めたり、技術力や生産能力の補完なども期待できる。エンジンアリングも事業の一つの柱であり、当社の生きる道。時代に即した環境やエネルギーという分野でチャレンジしていく」